

平成 27 年度
学校自己評価報告書

平成 28 年 4 月

学校法人八文字学園



専門学校水戸ビューティカレッジ

◆平成 27 年度 学校自己評価について

学校法人八文字学園、専門学校水戸ビューティカレッジは、平成 15 年の創立以来数多くの卒業生を輩出し、美容業界の発展とともに歩んでまいりました。その間、美を追求する技術は生活様式と密接に関わる中でさまざまに変化し、その多様化及び個性化が特徴的となりました。本校では、こうした時代の流れや社会的要請を踏まえ、新時代を担う美容スタッフとして社会に貢献できる人材育成を使命として、常に教育内容の改善・改良に努めながら教育活動の展開をしてまいります。

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として、平成 27 年度学校自己評価を実施し、本校の教職員が更なる教育の質の向上を目的として自校の教育活動その他の学校の状況について客観的に評価し、現状の把握、問題点の発見ならびに改善策の検討・実施を行っております。

1. 対象期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2. 実施方法

(1) 自己点検評価委員会による合議制の評価

学校長をトップとして学校自己評価委員会を設置し、その規定によって方針を定め、自己点検・自己評価を実施し、改善に取り組んでいます。

(2) 参考基準：「専修学校における学校評価ガイドライン」

(3) 評価期限：年一回年度末

(4) 評価結果の公開：報告書の作成保管およびホームページでの公開をしております。

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

1) 自己点検・自己評価の実施

学校関係者評価委員会に実施に先立ち、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、平成 27 年度自己点検・自己評価を実施した。自己点検・自己評価の点検項目は、評価項目の達成及び取組状況 11 分類 63 項目である。『平成 27 年度自己点検評価報告書』には、各項目の自己点検実施状況を記載し、自己評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1、無該当：0）を示した。また、①課題、②今後の改善方法、③特記事項を記載し、自己点検評価委員会により教員の評価平均と問題点と改善策についてまとめた『平成 27 年度学校自己評価報告書』を学校関係者評価委員会に提出した。

2) 自己点検・自己評価結果の報告

本書である『平成 27 年度学校自己評価報告書』により、各項目の自己点検実施状況及び自己評価ポイント、現状及び問題点と改善策を開示し、学校関係者評価委員会に、その評価を依頼する。

5. 評価項目の達成及び取組み状況

◇ 1 教育理念・目的 総合評価 3.60

教育理念 美容スタッフとしての人間力の育成

1. 美容に関する知識・技能を修得させ、あわせて社会人としての教養と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成すること。
2. 美容の多様化、個性化に対応するためにメイク・ネイル・エステティック技術などトータルビューティの修得についても目指す。
3. コンピュータ活用能力などビジネス教育を通し、幅広い視野をもつ美容スタッフの育成を行う。

水戸ビューティカレッジは、この教育理念にプラスして、美容業に携わるサービススタッフとして、コミュニケーション能力の向上、よりよいマナーの修得を目的として、常に問題解決型指向の人材養成に取り組んでおります。

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確）	4.00
イ	学校における職業教育の特色を示しているか	4.00
ウ	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.33
エ	学校の理念・目的・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3.00
オ	各学科の教育目標は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.67

(2) 現状および問題点と改善策

- ①教育理念は明確に定められている。
- ②ホームページやパンフレット等に学科ごとの職業教育の特徴を表している。カリキュラムの実効性の評価や業界の動きを

的確に捉える仕組みが必要である。

③学校の将来構想については、業界の動向も踏まえ、これからの進学者人口の減少傾向等を踏まえた上で策定する必要がある。

④教育理念や育成人材像等について、学生へ行事やホームルーム等で周知しているが、更なる周知徹底を図る必要がある。その為には、保護者及び学生集会実施も検討する必要がある。

⑤教育課程編成委員会において、業界団体、有識者の声を参考に、変化に対し敏感に柔軟性をもって対応している。

◇ 2 学校運営 総合評価 3.58

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.00
イ	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4.00
ウ	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、有効に機能しているか	3.67
エ	人事、給与に関する制度等は整備されているか	3.00
オ	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.00
カ	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.67
キ	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.67
ク	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.67

(2) 現状および問題点と改善策

- ①運営方針は、学校の目的、目標に基づき学校運営方針が定められている。
- ②目的・事業計画を基に年度ごとに策定し、全教職員対象に周知している。
- ③学校運営に関する組織は整備されており、年度ごとに策定し、年度初めに全教職員対象に周知している。必要に応じて人身体制等の変更を検討する必要がある。
- ④学内規程・業務マニュアルによる法令遵守の精神を養い、社会貢献など研修を通して個別的対応の取り組みをしており、詳細な規定の整備や組織的な取り組みについては今後の検討課題である。
- ⑤教育活動とその成果及び学科ごとの教育の概要については、ホームページや入学案内書等を通じて適宜、適切に公開している。
- ⑥情報システム化による業務の効率化は図られているが、システムの見直しが難しい側面もある。更なる効率化は必要である。

◇ 3 教育活動 総合評価 3.75

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.00
イ	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.00
ウ	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.00

エ	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.67
オ	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.67
カ	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.00
キ	授業評価の実施・評価体制はあるか	4.00
ク	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.00
ケ	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.00
コ	資格取得等の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.00
サ	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.67
シ	関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.67
ス	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか	3.33
セ	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.33

(2) 現状および問題点と改善策

- ①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている。
- ②修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を設定しているが、学力差異や個人差の問題もあり、技術面も含めレベル維持が課題である。
- ③学科ごとにカリキュラムは基準を基に体系的に編成されている
- ④育成人材像や業界のニーズ、目標等を明確にしている。生活様式と密接に関連して美容技術が変化中、総合的な技能が求められることにおいて、限られた年限での到達レベルについては継続的な検討が必要である。
- ⑤教育課程編成委員会において、業界団体、企業人、有識者の声を参考に、変化に対し敏感に柔軟性をもって対応できるようにしている。
- ⑥学科ごとに、企業等と連携した実習・演習授業を行っており、実践的な職業教育について体系的に位置づけている。
- ⑦授業評価は、学生からの授業アンケートを行っており、総合的に評価する体制を整えている。
- ⑧全学科において、企業連携授業として実践的な能力を修得する機会を設けているが、さらに充実した企業連携教育を目指していく。
- ⑨授業評価は、学生からの授業アンケート、教員の自己評価等で行っており、それらを総合して評価する体制を整えている。
- ⑩成績評価及び卒業判定の基準は、明確になっている。
- ⑪目標とする資格は、それぞれの学科で明確であり、指導體制については、体系的に位置づけられており、指導面においても学生の状況を鑑みながら行っている。
- ⑫教員確保においては、法令基準と合わせて、資格取得、経験年数、業務内容、指導力、人間性等の教員の資質面を重視することに努めている。
- ⑬教員の研修については、①専門分野の最新技術や知識についての研修、②指導力養成などの研修を必要に応じて実施している。
- ⑭教員の能力開発や専門分野の技術や知識の取得については、組織的な取り組みが十分ではないので今後検討を進める必要がある。

◇ 4 学修成果 総合評価 3.46

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	就職率の向上が図られているか	4.00
イ	資格取得率の向上が図られているか	4.00
ウ	退学率の低減が図られているか	3.33
エ	卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3.00
オ	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ①進路指導担当と担任が連携しながら個人指導の徹底、企業求人情報の開示、就職関連知識の授業枠での指導など総合的な就職支援活動を展開して就職率の向上を図っている。
- ②各学科の主とする目標資格を設定し、集中授業等支援策を講じて組織的に指導体制を組んでいる。更に指導法の工夫改善に努めることとする。
- ③退学防止・低減として担任及び学科責任者による面接指導、カウンセリングの充実、基礎学力の充実などの指導に力を入れている。その他、成績不振者や生活態度面で問題のある学生との面談、学生自身の精神的な問題、学生を取り巻く経済的・家庭的な原因等対応しにくい複雑な要因に取り組むための支援策を検討することも必要であるが、指導面で難しい側面もある。
- ④卒業生の社会的活躍及び評価については全体としては特に把握していないのが現状である。卒業生のその後のフォローと組織的な取り組みが必要である。
- ⑤卒業生については、卒業生の問い合わせにより担任や就職担当者において、転職などの相談にも乗っている。今後、卒業生からの意見や評価を活用できるシステムづくりを検討することも必要である。

◇ 5 学生支援 総合評価 3.53

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.00
イ	学生相談に関する体制は整備されているか	3.67
ウ	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.00
エ	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.33
オ	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.67
カ	学生の生活環境への支援は行われているか	3.67
キ	保護者と適切に連携しているか	3.67
ク	卒業生への支援体制はあるか	3.33
ケ	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.67
コ	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の組織が行われているか	2.33

(2) 現状および問題点と改善策

- ①進路・就職に関する支援は、進路指導担当者と担任が連携して計画的に指導を行っており、個々の学生に合った進路指導を展開している。

- ②クラス担任制をとり、学科長と共に常に学生と向き合うことで学業以外の諸課題についても相談できるようにしている。
- ③一人暮らし支援制度、定期券半額負担制度、特待生入学制度（学業特待、資格特待、精勤特待、OC特典）、学費の分割納入など、いろいろな側面から経済的に支援する制度を整備している。また、日本学生支援機構奨学金や日本政策金融公庫・県の奨学金等の積極的な紹介をしている。
- ④定期的な健康診断を毎年実施している。
- ⑤学園全体で行うバスハイクやスポーツ大会、卒業旅行等を実施しており、その他ボランティア活動としては、学校周辺の定期的清掃活動や通年で行なっている日本赤十字血液センターにおけるネイルケアのサービス、日立市における「ひたち国際大道芸」のフェイスペイントブース運営等を行なっている。
- ⑥保護者宛ての発送文書（成績、出欠状況）による学生状況報告、担任から保護者への電話連絡、必要に応じた面談等において、保護者との密接な連絡を取っている。また、進級時には三者面談を実施し学生の将来に備えている。
- ⑦担任レベルでの卒業後連絡や就職相談等はあるが、組織的な卒業生のフォローアップ体制は整備していない状況であり、今後の課題でもある。
- ⑧教育課程編成委員会を通し企業や関連業界の意見を参考にしながら実践的な職業教育の視点から教育方法を検討している。また、美容室のオーナーや人事担当者等から様々な実社会の現状を聞き学生指導に活かしている。
- ⑨見学会やオープンキャンパス等を通して具体的な実習体験をすることで職業への関心を高める支援を行っている。

◇ 6 教育環境 総合評価 3.22

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.67
イ	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	2.67
ウ	防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか	3.33

(2) 現状および問題点と改善策

- ①施設・設備は、美容師養成施設として教育上必要な各実習室を含め整備されているが、より良い教育設備を定期的に検討することも必要である。
- ②学外の企業実習等については特に組織的に実施していないが、採用が前提となる企業実習については状況により実施することもある。美容業について実体験を通して理解する機会でもあり有効に活用することも必要である。
- ③防災に関する計画書および災害時の行動マニュアルは整備しており、避難経路の周知や緊急避難時の連絡体制は整備されている。業者による消防点検は定期的に行われており、各種防災に対する安全指導體制を進めている。なお、防災訓練等の実施が必要である。

◇ 7 学生の受け入れ募集 総合評価 3.89

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学生募集活動は、適正に行われているか	4.00
イ	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.00
ウ	学納金は妥当なものとなっているか	3.67

(2) 現状および問題点と改善策

- ①学生の確保は、学校運営上最重要課題である。そのため学生募集活動は、必須条件となる。学校の教育内容や就職状況、資格取得等の実績を基本に、入学希望者に対して適切な入学情報を提供できるように配慮している。
- ②就職実績、資格取得実績等の教育成果は正確に伝えられている。また、本校の教育内容、成果を十分理解できるように「入学案内」や「ホームページ」、「学校見学会」、「学校説明会」、「オープンキャンパス」等で詳細に説明している。
- ③学納金は、社会的・経済的動向等を踏まえ総合的に見て妥当な水準である。

◇ 8 財務 総合評価 4.00

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4.00
イ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.00
ウ	財務について会計監査が適正に行われているか	4.00
エ	財務情報公開の体制整備はできているか	4.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ①各年度の収支とこれまでの蓄積を充て、借入をせずに自己資金で賄ってきており、財務諸表の通り財政基盤は安定している状況である。今後も中長期的に安定して入学者を確保するための計画、戦略を実施し財務基盤の強化に努める。
- ②学校運営にとって財政基盤の安定確保は最重要課題であり、法人全体としても厳格な予算編成を行っている。学園全体の予算編成方針に基づいて計画を立案し、各校の運営計画に従って予算を執行している。
- ③会計監査については、税理士の指導を受けながら会計処理を行った上で、公認会計士による外部監査、本法人の監事2名による内部監査を毎年度2回(5月と12月)実施しており、指摘事項があった場合は適切に是正措置を講じている。
- ④平成23年度より私立学校法の規定に従って、財務諸表等を作成し、理事会の承認を得て公開している。

◇ 9 法令等の遵守 総合評価 3.92

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.00
イ	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4.00
ウ	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.67
エ	自己評価結果を公開しているか	4.00

(2) 現状および問題点と改善策

- ①県・国に関係書類を提出し運営許可を得ている。また、法令や設置基準を把握し遵守している。教職員に対しては法令の改正、新法令の制定などが発生する都度注意を促している。
- ②「個人情報管理規定」を策定し、個人情報の適正な管理運用に努めている。日常の個人情報の取り扱いにおいて、個人情報の保護に対する意識付けを強化し、定期的な注意喚起を行っている。

③自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、「学生による授業アンケート」等を加味しながら定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善策を検討している。

④自己評価結果については、自己評価報告書を作成し、公開している。

◇基準 10 社会貢献・地域貢献

総合評価 3.22

(1) 評価

評価項目		評価 (4~1)
ア	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.33
イ	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4.00
ウ	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.33

(2) 現況および問題点と改善策

①職業教育を行なっている専門学校として高校生に対して、見学会やオープンキャンパス等の機会を通して将来の職業に対する職業観の育成を図り、職業への関心を高める支援を行っている。また、附帯教育事業として通信課程を設置して、働きながら国家試験受験資格取得を目指す者を支援している。

②ボランティア活動としては、学生による学校周辺の清掃活動を行って意識向上を図っている。その他、日本赤十字血液センター水戸支部における献血者へのネイルサービスのボランティア活動を通年で実施したり、毎年5月には日立市におけるイベント「ひたち国際大道芸」でのフェイスペイントブース運営のボランティア活動を行なっている。その他要請に応じ福祉施設における美容サービスのボランティア活動を行なっている。

③公開講座・教育訓練の受託等については行っていない。

◇11 国際交流

現在、留学生の受け入れは、行っておりません。

以上

学校法人八文字学園 専門学校水戸ビューティカレッジ

〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14
